

神奈川大学 学生連携 実施報告

神奈川大学 法律学科・自治行政学科の学生の皆様と、横浜の水際線を「歩いて」、「見て」、「考える」をテーマに、フィールドワーク・ワークショップを実施し、水際線の魅力向上に向けたアイデアを発表いただきました。

実施概要

日時：2026年1月15日（木） 13:00～18:00

内容：①フィールドワーク

（山下公園～臨港パーク）

②ワークショップ・発表

（神奈川大学 みなとみらいキャンパス）

参加人数：15人（法律学科・自治行政学科）

協力：嘉藤 亮 氏（神奈川大学法学部教授）

神奈川大学 社会連携センター



案内チラシ



フィールドワークの様子



発表の様子

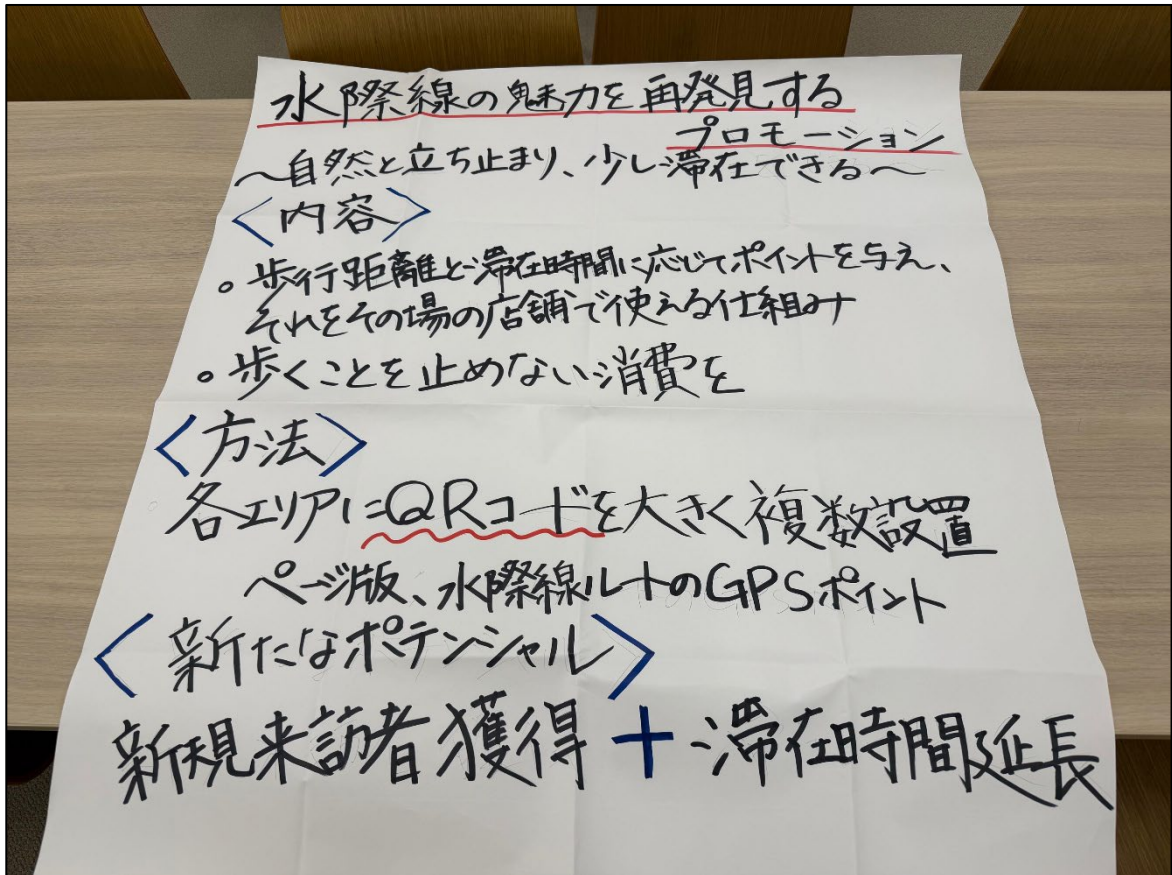
ワークショップでは4つのグループに分かれ、各テーマにもとづき、「どうしたら水際線に多くの方に来ていただけるか?」について意見出し・発表を行っていただきました。

【学生からの主な意見】

- トイレの外観があまり綺麗でないと感じた。
- 目的地まであと何 m か示したり、今の場所がわかるサインがあると良い。
- テーマパークのように、各エリア毎に異なる BGM を流すことで楽しく歩くことができると思う。
- 象の鼻～山下公園の動線は、トンネルなどで視界を一度制限し、一気に景色の違う空間へと導くことで、視界の変化を楽しめると思う。
- 各エリアに、専用サイトに繋がる QR コードを大きく複数設置して、歩行距離と滞在時間に応じてポイントを付与し、そのポイントを水際線の店舗で使用できる仕組みをつくれると良い。
- 山下公園は、歴史的な風景を活かしながら整備を進めて欲しい。
- 象の鼻パークは、サラリーマンの憩いの場となるような、お昼や休憩時にゆったりできる仕掛けづくり（カフェ、キッチンカー、Wi-Fi など）ができると良い。
- 赤レンガパークは、圧倒的なイベントスペースを活かしながら、動線も確保できるような整備ができると良い。
- ハンマーヘッドは、店舗の入口がほとんど内側にあり入りづらい雰囲気だと感じた。もっと通路にも開かれたつくりになるよう動線整備を行えると一体感が出ると思う。
- 水際線上では、ペット連れの方が多い印象だったので、臨港パークでは、広大なスペースを活かしドッグランができると良い。
- （臨港パーク）木や花など緑を活かした公園として打ち出すのが良いのではないか。
- 床や柵にデザインをして、エリアごとに特色をつけることで、飽きずに歩くことができると思う。
- 花や木々などの自然を増やすことも重要。
- 街灯が少ないと感じたため、足元から照らすようなおしゃれな街灯を設置して欲しい。
- クイズラリーやスタンプスポットを設置することで、エリアを回遊していただけたと思う。
- 水際線を歩いていると、どこに何があるかわからないと感じることが多かった。
- 山下公園では、ビアガーデンなどイベントを多く開催し、中華街などの他のエリアからの人の流れを作ることが効果的だと思う。
- 象の鼻パークではテラスにイス・テーブルの設置、キッチンカー、野外イベントを実施することでにぎわいが増すと思う。
- 臨港パークでも、赤レンガのスケートのような季節を感じるイベントを実施して欲しい。

Aグループ

『水際線の魅力を再発見するプロモーション（方法・内容・新たなポテンシャル）』



Bグループ

『歩いて楽しい水際線にするには』

問題点

- ▶ 街灯が少ない
- ▶ 道案内が少なくわかりにくい
- ▶ トイレの外観が汚くて入りにくい（暗い） わかりづらい
- ▶ 景色が単調で飽きてしまう
- ▶ カフェがさみしい デザイン
- ▶ 広いだけに感じる
- ▶ どこになにかがあるかよくわからない

改善点

- ▶ 床や柵にデザインをする →エリアごと特色をつけて飽きないように
- ▶ 自然を増やす →木々、花、など
- ▶ 標識を作ってわかりやすく →次エリアの魅力ポイントなど あと～mとか
- ▶ BGMをつけて愉快地 →エリアごとに変更したり？
- ▶ おしゃれな街灯 →足元から
- ▶ 遊具を作って子どもも楽しく →象にちなんだ遊具など、
- ▶ ペットに配慮 →ドッグラン、
- ▶ クイズ、スタンプラリー →エリアごとに～など
- ▶ フォトスポットをつくる →映えるようななにかを設置

Cグループ

『水際線を含めたお出かけプランの作成』

観光客、大体の人向けのオールマイティな
プラン

中華街：食べ歩き
→山下公園：休憩



利便性の向上（階段などの）、ビアガーデンなどの開催をすることで中華街での人の動きを作る
花植えたりして華やかに

象の鼻パーク：移動・休憩

山下公園からの通路をトンネルなどにして景色の切り替え
テラスに椅子や机の設置、キッチンカー・
野外イベントなど
空間の活用
橋の下の部分を明るい雰囲気にする



赤レンガ：ショッピング

赤レンガの中で何がやっているかが
わかりづらい為、看板の設置または
インターネットでの宣伝をする



ハンマーヘッド：晩御飯

赤レンガからの動線整備
marine & walkがせっかくいいところ
なのに入りづらい雰囲気、見つけづら
くなっている



臨港パーク



遊具などで物の密度を上げる、
雰囲気はそのままにできることを増やす
ペット連れが多かったためドックランや
それに併設するカフェなど
季節感感じるイベントなど（赤レンガの
スケートのような）

水際線全体

全体的に道の雰囲気を明るくする、案内
などの充実、駐車場など水際線付近への
行きやすさの確保

Dグループ

『水際線の10年後の理想の姿』

